

《参加者発言要旨》

1. テーマ別

(1) 運転者不足

- ・担い手が中々いない状況。公共交通を担う方に何かしらかの特典を与えるのも一つの方法ではないか。
- ・解消するには待遇改善が必要であるという認識だが、事業者の自助努力での改善はハードルが高い。
- ・人材確保や人材育成に係る支援や制度をぜひ検討していただきたい。
- ・各社採用に向けて努力しているが、市においてもタクシー乗務員になりたいという人の後押しをしてほしい。
- ・運転手不足について、給与面で行政から支援をして頂ければ、運転手不足の解消に繋がると思うので検討をお願いしたい。

(2) 事業継続に必要な施策

- ・事業者の収益は、コロナ前と比較して7割～8割程度しか戻っていない状況。経費の部分でも、燃料費の高騰が続いており、非常に苦しい経営状況が続いている。
- ・ICカード積み増しの際に付与されているプレミアムについて、全国の交通系ICカードにおいても常時還元率10%を行っているものは他にない。早急に廃止し、事業者の負担を無くしてほしい。
- ・敬老パスについても、利用者負担の1/3を事業者が負担しており、非常に苦しい。敬老パスの事業者負担を無くしてほしい。
- ・全国的にも路線バスの事業経営が苦しい状況。自治体によっては、地域間幹線補助金の対象路線について、赤字部分の満額補助を行うところもあり、鹿児島市においてもご検討いただきたい。
- ・タクシーの台数が減ってきており、タクシー会社では、コロナ前と比較して売り上げが8割までしか回復しておらず、燃料費高騰もあり非常に厳しい状況である。
- ・市の乗合タクシー事業について、予約時間に間に合うようにするため、一般の客の利用をお断りしている。また、1台あたり30分は拘束されるが、その対価として初乗り運賃プラスアルファでは採算が合わないので、1回あたりの運行距離が比較的短い地域について、委託料の見直しを検討してほしい。
- ・燃料代高騰により、経営が厳しい状況にあるため、支援の継続をお願いしたい。

(3) 公共交通を取り巻く環境・今後の維持存続

- ・公共交通について、市として今後どのように維持・存続していきたいのか考えを聞きたい。
- ・市営バスは、公共交通としての役目を意識し、必要なバス事業を見直していく必要があると考える。
- ・賃金や労働条件の改善を行っていただき、魅力ある職種として、将来にわたって人材不足とならないような、業種として改善を行ってほしい。

2. その他

- ・各社が協力して取り組むことが必要だと思うが、各事業者同士ではどうしても利害関係の問題が出てきてしまうので、市や県がリーダーシップをとって進めてほしい。